

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月24日更新

事務事業名		図書館まつり実施事業						☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり						所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	21 生涯学習の推進						所属課	生涯学習課	担当者名	前田 美和
	基本事業	67 学習への参加機会の提供						所属班	図書館班	(内線)	2536
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番10811	法令根拠	図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条		成果優先度評価結果	⑧
										コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館利用促進を目的に平成8年旧両町の時から実施されている。合併前は合志館は”ヴィーブルフェスタ”の一環として実施していたが、合併後、西合志館で平成18年10月22日に開催、合志館は”合志市文化フェスティバル”の一環として実施した。平成19年度からは市立図書館として合志市文化フェスティバルの一環として11月に実施した。参加者は、年々増加の一途にある。また、合併により市立小中学校の児童生徒に対する読書感想文等の募集が広範囲になり、優秀作品の選定作業時間が多く必要になってきた。
【業務の流れ】	『西合志図書館』：図書館まつりのチラシポスター製作①関係者への連絡・会場設営・リサイクル本の還元・上映会用会場設営 『合志図書館』：図書館まつりのチラシポスター製作・合志市立小・中学校へのチラシ配布や広報等による作品の募集・選定・表彰式・記念品購入・入選作品の掲示・作品集編集・会場設営・講師依頼・リサイクル本の準備及び還元・クイズ製作・景品準備。
【主な予算費目】	報償費(講師謝金・副賞品代)・需用費(材料購入)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	リサイクル本の配布を最初から無制限にしてあると先に大量に持っていかれ、あとから来た人が受けることができない。最初に混雑してしまう、いらない本までついでに持って行く、対応する人員不足、市の財産としてどう考えるか、公平さ、広く市民に還元する、また図書館まつりを西合志館と合志館で分かれて実施するのは利用者が分散してしまう。合志市立図書館としてどのような方向性でいくか今後やり方などを検討する必要がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
西合志図書館(講演会・おはなし会・本のリサイクル・押し花しおり作り教室・くまモンのカゴをつくろう!・マジックショー・星空観望会・移動図書館車公開)・合志図書館(読書感想文集等を募集入選作品の表彰をした。また、本のリサイクル・おはなし会・昭和の遊びを実施した。) 延べ2,048人の参加があった。		24年度は「図書館まつり」を西合志館のみで開催した。合志館は、文化フェスティバルの日に、本のリサイクル、表彰等を行った。25年度はどのようなかたちで行うか検討する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 事業開催回数	回	消耗品費の減	
→ イ 事業開催日数	日		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		(単位)	
		→ ア 人口	
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
読書活動の推進を図る。		(単位)	
		→ ア 事業参加者数(延べ)	
		→ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・ 事業の成果として参加者を設定するのが適当である。・ 日程の変更が考えられるため若干低い設定にした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	回		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ	日		2	2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア	人		55,587	55,587	56,000	57,501	56,500	56,500	56,500	56,500	56,500
	イ											
③ 成果指標	ア	人		3,634	3,766	4,500	4,382	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	イ											
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円	172	203	224	208	210	195	195	195	
	(A) 事業費計	千円	172	203	224	208	210	195	195	195		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人件 費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	6	6
	延べ業務時間		時間	450	470	140	410	140	140	140	140	
	(B)人件費計		千円	1,854	1,897	565	1,669	565	565	565	565	
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,026	2,100	789	1,877	775	760	760	760	

事務事業名	図書館まつり実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 西合志館・合志館で日程が分散したので、述べ人数としては増加した。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 日程変更の可能性がある、周知を徹底するため、若干低めの目標をたてている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 『合志市文化フェスティバル』の一環として実施している『合志図書館まつり』と『西合志図書館まつり』を統合し、広報費用の節減と準備の効率化を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 『合志市文化フェスティバル』の一環として実施している『合志図書館まつり』と『西合志図書館まつり』を統合し、広報費用の節減と準備の効率化を図る。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 読書感想文等の作品募集について、各小・中学校で事前審査を行なっていたが、点数を制限したことにより、参加賞代を削減できた。図書館職員が手作りのブラックパネルシアターを上演することにより、講師料の削減ができた。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 図書館職員の約8割を占める非常勤職員に頼るところが大きい。正規職員の業務時間を削減することは不可能であり、既に非常勤職員が主体となって図書館まつりを行っている状況である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 図書館法により無料の原則に則って運営している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 図書館主催の行事であり適正である。なお、おはなし会などボランティア団体に協力いただいている。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

まつりには多くの市民の参加があり、一定の成果があったと考える。今後もより多くの市民の参加があるよう工夫したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

今後もより多くの市民の参加があるよう内容を検討する。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策